

（四国地方整備局からのメッセージ）

◆◆◆四国地方整備局トピック 2016. 12. 9◆◆◆

\*\*\*\*\*

■公共建築物における木材利用の推進について

我が国では、戦後植林された人工林資源が利用可能な段階を迎えつつある一方で、その利用は低調であり、林業生産活動の停滞や、森林の有する国土の保全、水源のかん養などの機能の低下が懸念されています。

このため、国産材の需要拡大が求められ、木材利用の拡大の余地が大きい公共建築物等における木材の利用を促進することを目的として、平成22年に「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が施行されました。

公共建築物の整備においては、過去、森林資源の枯渇への懸念や不燃化の徹底等から木材の利用が抑制された時期があり、これまでは鉄筋コンクリート造や鉄骨造が主流となっていました。同法に基づく基本方針においては、耐火建築物とすることが求められていない低層の公共建築物において、積極的に木造化を促進することとされています。

また、木材の中で新たな建築材料として最近注目を集めているのがCLT（直交集成板）です。CLTは、Cross Laminated Timber の略称で、ひき板（ラミナ）を繊維方向が直交するように積層接着した重厚なパネル材料で、強度が高く、ヨーロッパにおいては中高層建物への活用が進んでいます。日本でも、地方創生にもつなげる新たな木材需要の創出の一手段としてCLTの活用が期待されています。

四国地方整備局営繕部におきましても、これらの方針等に基づき、木造庁舎の整備に取り組んできており、今年度からは高知県内に所在する嶺北森林管理署の建て替え事業において、国の庁舎として初めてCLTを本格活用した木造庁舎の整備を進めています。現在は設計を行っており、年内に基本設計、年度内に実施設計を完了させ、平成29年度以降に工事着工となる見込みです。

国の庁舎としては全国的にも初めての取組みであり、課題も多いことが予想されますが、完成に向けて全力で取り組んで参りますので、関係の皆様のご支援方よろしくお願い申し上げます。

四国地方整備局

営繕部長 光井 裕二

\*\*\*\*\*

■平成28年度大規模津波防災総合訓練の開催について

【企画部】

平成27年12月の国連総会本会議において、11月5日が「世界津波の日」として制定されました。それを踏まえ今回の訓練では、海外からの留学生の訓練参加や大使館等から視察、世界津波の日に関する広報展示、「『世界津波の日』高校生サミットin黒潮」に参加する高校生代表による決意表明など、初めての試みを行いました。

「大規模津波防災総合訓練」は、平成16年に発生したスマトラ島沖地震を契機として平成17年度より実施しており、今回11回目を迎え、四国地方では2回目の開催となります。高知県は、南海トラフ地震発生時に、巨大な津波が短時間での来襲が予想されていることから、地域全体が確実かつ迅速に避難行動をとるための避難訓練、関係機関による救命・救助活動、TEC-FORCEと関係機関との連携による緊急排水・道路啓開・航路啓開等の訓練を実施しました。

開催日時：平成28年11月5日（土）9:00～12:00

場 所：高知県高知市仁井田（高知新港）[メイン会場]  
高知県高知市種崎（種崎地区）[サテライト会場]

主 催：国土交通省、高知県、高知市

共 催：四国南海トラフ地震対策戦略会議

実施訓練：避難訓練、救助・救出訓練、排水活動訓練、道路啓開訓練、航路啓開訓練、緊急物資、輸送訓練 他

参加機関：94機関

参加者：石井国土交通大臣、尾崎高知県知事、岡崎高知市長をはじめとする約4,000人（1,000人以上が見学）

<各種訓練の内容>

○航空機を運用した情報収集・救助訓練

- ・ヘリコプターによる情報収集・映像伝送訓練
- ・航空機による情報収集訓練
- ・ヘリコプターによる海上漂流者救助訓練
- ・ヘリコプターによる孤立者救助訓練
- ・巡視船への救助者搬送訓練
- ・被災地域へのTEC-FORCE派遣 など

○海上での航路啓開・輸送訓練

- ・船舶避難誘導訓練
- ・海上での捜索・救助・救護訓練
- ・海上での船艇による負傷者搬送訓練
- ・港湾施設被害調査訓練
- ・沈降物確認深淺測量
- ・油防除訓練
- ・航路啓開（水中障害物の調査及び撤去）訓練
- ・緊急物資輸送訓練 など

○陸上での被害者救助・情報調査等訓練

- ・津波避難訓練（留学生など海外からも参加）
- ・倒壊家屋・破損車両からの救助・救出訓練
- ・応急救急・トリアージ・医療機関搬送身元確認等訓練

- ・延焼中の瓦礫等を消火する訓練
- ・ドローンによる情報収集訓練
- ・道路啓開訓練
- ・堤防止水・排水活動訓練
- ・ライフライン復旧訓練
- ・炊事車による炊き出し訓練 など

開会式では、石井国土交通大臣、尾崎高知県知事、岡崎高知市長が挨拶。併せて、『世界津波の日』高校生サミットin黒潮」に参加する高校生代表が決意表明を行いました。

また、訓練を視察した石井国土交通大臣は、「災害は自助、共助、公助の組み合わせをしっかりとっていくことが大事。今回の訓練は、留学生も参加されているので、日本が地震や津波の防災で培ってきた知識や技術を世界に発信していきたい」と感想を述べました。

閉会式では、名波四国地方整備局長が閉会の挨拶を行い、「訓練にあたっては多くの方々から多大なご協力をいただきましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。四国地方整備局として今回の訓練を通じて得た成果を生かせるよう、引き続き防災力の向上に努めてまいります。」と述べました。

\*\*\*\*\*

## ■横瀬川ダム本体建設工事起工式を実施

【中筋川総合開発工事事務所】

11月13日（日）午前10時より高知県宿毛市山奈町にて、晴天のもと横瀬川ダム本体建設工事起工式を開催しました。

当日は、横瀬川ダムサイトの上流に設営した式典会場において、四国地方整備局の主催で行われ、尾崎高知県知事、地元選出の中西参議院議員、元四国地方整備局長の足立参議院議員、中平四万十市長、中平宿毛市長、地元関係者並びに工事関係者など約200名の方々にご出席いただきました。

起工式は、四国地方整備局長の式辞で始まり、水管理・国土保全局治水課長の挨拶、ご来賓からの祝辞、中筋川総合開発工事事務所長の事業概要説明に引き続き、来賓と地元の中筋小学校6年生とによる、はつぐわとくす玉開披が行われ、工事の安全を祈念しました。

当事業は、中筋川流域において頻発する洪水被害を軽減し、四万十市の水道水の供給を確保するなどの多目的ダムとして建設するもので、平成31年度の完成を目指しています。宿毛市平田町に建設された中筋川ダムとともに、中筋川総合開発事業として中筋川流域の治水・利水・環境に貢献するものです。

\*\*\*\*\*

## ■松山外環状道路インター線が全線開通（12月10日）します

【松山河川国道事務所】

松山河川国道事務所・愛媛県・松山市が協同で平成16年度より整備を進めている「松山外環状道路インター線」のうち、古川IC～市坪IC間（延長1.8km）の自動車専用道路部が12月10日（土）に開通し、インター線の自動車専用道路部が全線開通します。

今回の開通により、国道56号から松山ICまでの区間の所用時間が約8割短縮され松山西部や松前町方面から高速道路への利便性が向上するとともに、「主要渋滞箇所」である天山交差点等の更なる渋滞軽減が期待されます。また、並行する幹線道路や生活道路の交通が自動車専用道路に転換することで、市内の交通事故削減も期待されます。

さらには、平成29年に松山外環状道路空港線側道部と結ばれ、年々利用者が増加している松山空港へのアクセスを向上し平成29年開催の「えひめ国体」に貢献するとともに、松山空港や松山港からの輸送時間が短縮されるなど物流ネットワークが強化されます。

12月10日の開通までには、報道関係者への現場公開、地域住民の方々のウォーキング、関係機関による防災訓練等のイベントを開催予定であり、開通式では、椿中学校吹奏部によるブラスバンド、テープカット、くす玉開披、風船飛ばし、開通記念パレードを予定しています。

地域の整備促進の声も高い松山外環状道路（空港線）の早期整備に向け、引き続き愛媛県、松山市と一体となって全力で事業に取り組みます。

\*\*\*\*\*

■連続サイホン式の選択取水設備が完成

【山鳥坂ダム工事事務所】

山鳥坂ダム工事事務所では、洪水調節機能の増強、流水の正常な機能の維持、水質保全対策の3本柱で鹿野川ダム改造事業を進めています。

このうち、水質保全対策の一貫で実施する選択取水設備が12月1日から運用を開始されました。選択取水設備が無い場合は、出水後上流からの濁った水の流入がなくなると濁った水は徐々に深いところに沈んでいきますが、選択取水設備が完成すると浅いところから相対的にきれいな水を取水することにより、濁水放流の長期化が防止できます。

鹿野川ダムに設置される選択取水設備の取水方法は、取水したい層以外のサイホン管に空気層を設けることで水の流れをロックし任意の層から取水する連続サイホン式となっています。

連続サイホン式の選択取水施設は施工事例が少ない上に、ダムの運用をしながらの施工は全国初の試みでしたが、サイホン管の溶接作業を降下装置上で行いながら水中に送り出すことで精度の高い施工が可能となり、無事今回の運用を迎えることができました。

12月18日(日)には、一般市民を対象とした見学会を予定しておりダム完成後60年弱の時を経て下流の環境に配慮出来るダムになった姿を見ていただく予定です。

\*\*\*\*\*

■港の役割について出前講座を開催！

【松山港湾・空港整備事務所】

11月16日(水)、宇和島市立番城小学校の5年生80人を対象にした出前講座と現場見学会を開催しました。この出前講座は、小学生のための港湾学習教材「港の大研究」を配布した際、小学校から講師派遣の依頼があり実施したものです。

小学校の教室にて、担当職員より港湾が果たす役割や宇和島港に入港するクルーズ船について講義を行いました。講義終了後は、宇和島港坂下津地区へ移動し、貨物の積み降ろしをする岸壁や防波堤の役割などの説明を現地で行いました。

教室の講義では、参加した小学生から「宇和島港に降りたクルーズ船のお客さんはどこへいくのか」とか現地では「港はいろいろな品物が運ばれる大切な場所であることが分かりました」など活発な質問や感想があり、有意義な出前講座となりました。

今回の出前講座を通して、身近な生活に関わる港湾のインフラについて興味を持って頂いたのではないかと思います。

\*\*\*\*\*

■高知県須崎市の人気ご当地キャラ「しんじょう君」が須崎港を見学

【高知港湾・空港整備事務所】

10月18日(火)、事務所として初めての取り組みとなる、ご当地キャラとタイアップしたみなと見学会を開催しました。

高知県須崎市のご当地キャラ、「しんじょう君」と楠瀬耕作須崎市長に、実際に須崎港を見学して頂き、今後の須崎市PRを行っていく上で須崎港の役割や重要性について理解を深めていただきました。

「しんじょう君」は、ニホンカワウソと須崎名物鍋焼きラーメンをモチーフとした高知県須崎市の人気ご当地キャラで、11月6日(日)に愛媛県松山市で行われた「ゆるキャラグランプリ2016」で念願の初優勝を果たしました。

港湾に携わる立場としては、須崎港PRのためにも頑張ってもらいたいと思います。

\*\*\*\*\*

■国営讃岐まんのう公園の「ウィンターファンタジー ～水toいのち～」

【香川河川国道事務所】

国営讃岐まんのう公園では、毎年多くのお客さまにご好評をいただいている『ウィンターファンタジー』を平成28年11月19日(土)から平成29年1月3日(火)まで開催します。

今年のウィンターファンタジーは、55万球のLEDを使用し、テーマは「水toいのち」をテーマとして、生物にとって欠かせない水の性質や美しさをLED電球やスポット照明で表現したイルミネーションを行います。入口正面にある「エントランス広場」では高さ10mのシンボルツリーが皆様をお出迎えします。さらに「緑と石のヴィスタ」では、壁面の石垣は華やかな光で覆われ、「昇竜の滝の上広場」には四国最大級の地上高5mのシャンパングラスタワーが登場します。公園のシンボルである水の落差約9mの人工滝「昇竜の滝」もライトアップされ、1時間に1回の瀑布は迫力満点です。「芝生広場・風花の庭」のエリアには、絨毯のように広がるグランドイルミネーションが楽しめます。さらに、地元の高校生が考えたデザインを、イルミネーションで表現するエリアなど見どころ満載です。また、週末を中心に、特別体験教室や各種イベントも開催しております。

まんのう公園で素敵な一夜を大切な人と過ごしてみませんか。

※1. 平成28年11月19日(土)～平成29年1月3日(火)  
休園日：毎週火曜日(11/22(火)、12/27(火)、1/3(火)は開園)  
12/29(木)～12/31(土)

開園時間：11/19(土)～12/22(木) 土・日曜日、祝日 21：00まで開園  
12/23(金)～1/3(火) 土・日曜日、祝日を除く 20：00まで開園

※2. 季節の花情報や旬のイベント情報については、国営讃岐まんのう公園ホームページでご確認ください。(http://sanukimannoupark.jp/)

\*\*\*\*\*

四国地方整備局HP

<http://www.skr.mlit.go.jp/>

\*\*\*\*\*

「いきいき四国通信」に関するご意見等がありましたら、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp  
《平成27年2月からメールアドレスが変わりました》

\*\*\*\*\* 「いきいき四国通信」事務局 \*\*\*\*\*

「いきいき四国通信」の配信中止・配信先変更のご希望がありましたら、事務局  
ページ(6)

いきいき四国通信Vol.82（配信版）.txt  
までFAXまたはメールにてご連絡頂きますようお願いいたします。

国土交通省 四国地方整備局 企画部  
【担当】新名、篠崎